

にこで ~和手~



2022年秋号 南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹 発行

秋の恒例イベントが戻ってきました!! 乳幼児親子が子育てサロンやつどいの広場などの地域の支援場所をめぐる「まちのほっとスペーススタンプラリー」。10月1日から3年ぶりに開催されます。初めての場所でドキドキしている親子を温かく迎え入れていただくことで、地域に顔見知りが増えるきっかけになることを願っています!



11月15日(火)~25日(金) 区役所1階ギャラリーにて 『オレンジリボン児童虐待防止パネル展』 ぜひご覧ください!



南区内の常設の子育てひろば6施設で集めた子育て中の方のメッセージカードをウォールアートにして展示します。主任児童委員さん、こんにちは赤ちゃん訪問員さんから温かな応援メッセージのご協力もいただきました。子ども食堂の情報も一覧できます。

展示時間:9時~17時 (初日は12時から、最終日は15時まで)

令和4年度 第1回南区子育てもっとネット会議

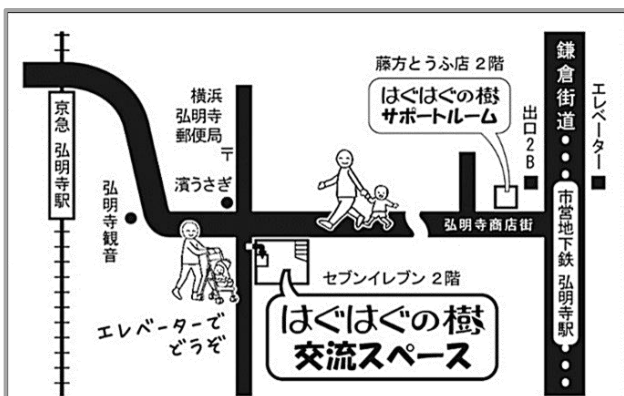
7月11日(月)、6か所のエリア会場と個別参加者をオンラインでつないだハイブリットの形で開催し、乳幼児親子の支援事業・活動に取り組んでいる42団体・機関から49名が出席しました。

横浜子育てパートナーの菊池が「コロナ禍での子育て事情~拠点での相談から~」のテーマで報告し、その中で提示した課題を踏まえつつエリア会場ごとに(オンライン参加者は3つに分かれて)グループトークを行い、活発な情報交換が行われました。

エリア会場の清水ヶ丘・永田・六ツ川・睦・別所の各地域ケアプラザの皆様、ご協力ありがとうございました。

◇ グループトーク発表の記録より ◇

- ◆一時保育の需要が高まっている。コロナ対応のために母子でいる時間が増え、母たちが精神的に追い詰められているという印象がある。
- ◆保護者はインターネットで情報を収集している。情報提供ができるツールがあると良い。
- ◆子どもが場所見知り、人見知りをして他の子どもを見ても近くに行かない。保護者も人見知りではと思う。仲良くなるペースが以前より遅くなっている。
- ◆子どもの体力低下が心配だが、親子が外を歩いているのをあまり見かけない。どう機会を作っていけばいいか。
- ◆親子では遊ぶが、他の親子と一緒に遊ばないこともありつなげることができるといいなと思っている。
- ◆現在ランチタイムがない。以前はこの月齢ではこんなものを食べている、こんな工夫をしていると、離乳食での交流があった。今は離乳食で悩んでいる保護者が多い。
- ◆顔を合わせる機会が少ないと気軽に相談することができないので保護者も苦しかったらと思う。



「にこで~和手~」第41号

【発行】南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹(サポートルーム)
〒232-0056 南区通町 4-115 アイライン弘明寺2階
TEL:720-3655 FAX:715-3815
MAIL: info@haghagnoki.jp

子育てパートナーの南区の子育て支援活動紹介 子育てサロン あかいくつ すくすくひよっ子

9月の開催日、蒔田地区の子育てサロン「あかいくつ」では防災についての座談会が行われました。

地域で防災活動等、様々な活動をしている方々や主任児童委員の工藤さんが『南区防災マップ』などの資料を基にお話され、地震だけでなく、河川の氾濫時にどのくらい被害があるのかなどを確認しました。

子どもがいる家庭での備蓄については、食料だけでなく子どもや自分にとって心が安らぐグッズや嗜好品があると避難生活の中でホッとできるというお話がありました。また、地域の防災訓練に参加する、日ごろから挨拶を交わすといったことが、いざという時の声掛けや助け合いにつながるのではないかとアドバイスをいただきました。

参加者からは「自宅で避難生活をしていた場合、食料の配給はしてもらえるのか」の質問があるなど、これを機に日頃の備えについて考えてみたいという声が聞かれ、有意義な会になりました。

あかいくつは
広い畳の部屋も魅力

●子育てサロン「あかいくつ」●

日 時：毎月第1火曜日

場 所：蒔田コミュニティーハウス

対 象：未就園児と保護者

参加費：1組 100円(保険・会場費として)



すくすく
ひよっ子の
スタッフの
皆さん

●子育てサロン「すくすくひよっ子」●

日 時：毎月第3金曜日

場 所：六ツ川大池連合自治会館

対 象：0歳～1歳児と保護者

参加費：1組 50円(保険・会場費として)

★開催報告★ 子育て支援者向け ジェンダー入門講座

～性別にとらわれず子どもの個性と向き合う～

9月8日、子育てサロンや保育園、つどいの広場などから36名が参加。講師のお話の他、活発な意見交換も行いました。

《講師》 エコネットワークス 木村麻紀さん

《ゲストスピーカー》 エコネットワークス代表 野澤 健さん

《参加者感想》 (一部抜粋)

- 性別でなくその人を見る、という姿勢の大切さに気付かされました。
- ジェンダーバイアスについては知っていましたが、どうしたらよいか、ということまで深く考えたことはありませんでした。今回の講座で、ジェンダーニュートラルな対応事例や、パパ視点からのジェンダーバイアス体験談から、新しい視点を学ぶことができました。
- 気にしてはいても、バイアスがかかった見方をしている時が多いということを改めて感じました。自分がいかに先入観を持っていたか、わかりました。何気ない一言に現れてしまうのが怖いで

す。意識を持つことは大前提として、具体的例の積み重ねも大切だと思いました。現在はジェンダーに限らずいろいろな人がいるので、多様性やマイノリティーという視点でも常に意識して勉強していくことが大切だと思いました。

➤ 声かけの難しさを感じていたため、大変参考になる講座でした。失敗を許し合える寛容な社会を作っていけるといいなと思いました。

➤ 子育て支援の場で保護者の方々が無意識に女/男の子だからと発言している時にどう声掛けをしたらいいか悩みます。上から目線にならず保護者の方にさりげなく気づいてもらえるような言葉がけを心がけたいと思いました。